

千葉県立柏中央高等学校 部活動ガイドライン

○ 重点教育目標

文武不岐により、総合的に知・徳・体を鍛え、広い視野から自己実現を目指す

1 部活動の位置づけと意義

部活動は、教育課程とあいまって学校教育の一環として行われ、興味と関心をもつ同好の生徒が顧問（教師や指導員）の指導のもと、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、楽しさや喜びを味わい、「生きる力」の育成を図るため、推進するものである。

2 魅力ある部活動を推進するために

- (1) 生徒、保護者、地域の理解の上に立ち、学習との両立を図れる環境を整えるとともに、体罰、ハラスメント、いじめのない、健全で魅力ある部活動の維持発展に努める。
- (2) 勝利至上主義に陥ることなく、生徒の主体性を重んじ、目的を踏まえた目標設定と達成に向けた取組により、切磋琢磨する生徒集団を育成する。
- (3) 科学的な知見を取り入れた合理的・効率的・計画的な指導を目指し、負荷と休養のバランスに配慮する。
- (4) 故障の予防と事故防止に努めるため、発達段階に応じた能力や適性を見極め、個に応じた指導を心掛ける。

3 部活動の適切な活動時間等について

- (1) 授業中の平日は、片づけ等を含め午後7時00分までを目安に行い、活動時間が過度にならないよう留意する。
- (2) 週の中で適切に休養日を設ける。
- (3) 長期休業中についても、授業中の休養日の設定等に準じるものとする。
- (4) 適切な休養が取得できるように、月間・学期・年間で休養日を調整し、計画的に設定する。